

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 早月加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
①東滑川駅周辺の整備	東滑川駅の山側に駐車場や駐輪場等を整備してほしい。近くに工業団地や北陸能力開発大学校があり、通勤・通学に利用する人がたくさんいる。東滑川駅の利便性が高まれば、周辺人口の増加に繋がるのではないかと。	東滑川駅の山側に富山地方鉄道があることや地権者との調整等の問題もあるため、すぐに進められることではありませんが、いただいたご提言を参考に検討していきます。	—
②空き家	住宅用地特例により、空き家を解体すると固定資産税が上がってしまうため、四ツ屋町内に空き家が多くなっている。	公約にもあるとおり、空き家を取り壊した後の固定資産税を減免する条例の制定等を検討していきます。危険な空き家は解体し、改装等ができる空き家は利活用していきたいと考えています。	令和5年4月から、空き家を取り壊した後の固定資産税を減免する制度を実施します。また、令和5年4月から、危険老朽空家除却支援補助金を50万円から70万円に増額します。
③市道四ツ屋4号線の速度制限区間	平成27年に市道四ツ屋4号線が現在の30km/hの速度制限区間より北側の県道135号線まで拡幅延長された。拡幅延長された区間の速度制限が設定されていないため、要望してほしい。	公安委員会の管轄になりますので、警察へ連絡します。	令和4年7月に警察署に伝達済みです。令和5年1月に速度制限区間の延長は実施済みと報告がありました。
④コミュニティバス	高齢者の運転免許自主返納が進み、買い物等に出かけるときにコミュニティバスは有効な交通手段になる。自由乗降など高齢者に配慮した運用をしてほしい。	6月1日からコミュニティバスの自由乗降の試験運用を開始しています。どのような効果があるかを検証し、現在見直しを進めているコミュニティバスの運行計画に反映させていきます。	令和5年6月1日から、自由乗降区間が延長されます。詳しくは、広報6月号と一緒に配布される、新時刻表・ルート図をご確認ください。
⑤高齢者への声掛け	民生委員が高齢者の声掛けを実施しているが、民生委員でなくても地域の方が声掛けを実施し、民生委員や包括支援センターの職員へ相談をする等の仕組みを意識づけするように市から働きかけをしてほしい。	住民で協力して高齢者宅の台帳を作成している町内会や声掛けを強化して取り組んでいる地域が市内にあります。市としても地域に働きかけていきます。	見守り活動事業の一つである、ひとり暮らし高齢者登録をされる際に、高齢福祉推進員を選出いただいております。日々の声掛けをお願いし、様子がおかしいと感じられた際は、市などへ報告いただくこととしております。
⑥健康への取り組み	市民健康センターで集めている市民の健康データをもとに、各地区で口腔や歯等の身体の部分別に指導する取り組みを検討してほしい。	健康センター等と検討していきます。	健康センターでは、市内9地区に健康づくり推進協議会(委員会)を組織し、各種健康講座を開催しています。一部地区では、健診データを活用した生活習慣病予防教室も実施しており、今後全地区で開催できるよう検討していきます。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 早月加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
⑦高齢者へのサポート	高齢者へのサポートは公助の限界がきているため、自助・共助が重要であることは理解している。しかし、町内会も高齢化し力が弱まっていることも事実である。市としては地域にできるだけ委ねていくのか、公助をより推進していきたいのか考えを聞かせてほしい。	公助から地域での自助・共助へ移行していきたいと考えています。そのために市としてできることはサポートしていきます。	ひとり暮らし高齢者登録や避難行動要支援者見まもり台帳など、地域ぐるみで高齢者のサポートを行っていただきやすいような制度を整備しています。共助の力が発揮しやすい環境づくりに引き続き取り組んでいきます。
⑧ゴミの処分方法	昔は剪定した枝等を個人の簡易焼却炉で燃やしていたが、現在は取り締まりが強化され、ゴミステーションへ持ち込んでいる。これによりゴミの量が増加していると思うが、個人で焼却できるよう市から働きかけてほしい。	市民から問い合わせがあった際には、ゴミの出し方・分け方の基準を守るよう指導しています。	法令により、ごみを屋外で燃やす行為は原則として禁止されています。煙や臭い等の苦情の原因となり、また、火災につながるおそれもあるので、剪定した枝等は町内のごみ集積場に出すようご協力をお願いします。
⑨河川の浸水	市内の重要水防箇所である早月川等の二級河川のリスク調査は実施しているのか。	県と連携し、50年・1,000年に1度の雨が降ったときの浸水ハザードマップを作成し、各町内へ配布しています。このマップでは浸水深ごとに色分けされた区域を表示しています。早月川については、1,000年に1度の浸水想定が前回の公表より大幅に広がっている状況ではないと県からデータをもらっています。	—
⑩新型コロナウイルス感染症	毎日、新聞に各市町村の新型コロナウイルス感染者数が掲載されている。滑川市の感染者の年齢層を教えてください。高齢者の感染が多いのか。	市内では様々なところで集中的に感染が続き、感染者数が高止まりしている状況です。高齢者の感染が多いとは一概に言えません。	9月28日から新型コロナウイルス感染者の発生届が変更となり、市町村別の感染者数の把握はできなくなったため、感染状況は確認できていません。
⑪市内施設の公衆Wi-Fi整備	市内施設のWi-Fiについては、どこまで整備が進んでいるのか。	主な公共施設は学校や地区公民館を含め整備が完了しています。	—
⑫マイナポイント	先日、市からマイナンバーカードの取得促進についてマイナポイントを含めて案内があった。電子決済サービスを利用していない高齢者が多くいるが、意味があるのか。	マイナポイントを受け取ることが目的になりがちですが、マイナンバーカードは本人確認のための身分証明書として使用できるほか、自治体の様々なサービスに利用できるため、取得を検討してください。	—

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 早月加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑬市から町内会長への案内	土日に郵便局がやっていないため、市から町内会長への案内の到着が遅いことがある。市でデジタル化を進めているので、メール等での案内を実施してはどうか。	移行できる場所は検討します。	令和5年度から、自治会連合会(市+各町内会長)として町内会運営アプリ「結ネット」を利用し、市から町内会長へ迅速な情報共有を図りたいと考えています。
⑭ふるさと納税	滑川市民が他自治体へふるさと納税をすると、本来入るべき税金が入らないと思うが、出ていった金額はわかるのか。	いまは滑川市民が他自治体へ寄附をした正確な金額はわかりません。滑川市への寄附金額の実績は、令和3年度が約37,000千円、令和2年度が約26,000千円です。	市民税からの控除額は、令和4年度が約39,000千円、令和3年度が約25,000千円、令和2年度が約19,000千円となっています。
⑮2026年、水野たつおが目指す滑川MAP	「2026年、水野たつおが目指す滑川MAP」に「田園風景との共存」とあるが、具体的にはどのように考えているのか。	中山間地域の活性化を含めて、田園風景は残していきたいと考えています。	中山間地域等直接支払制度を活用しながら、集落に中山間地域の農地の保全管理をしていただいています。
⑯農業支援	昨今のウクライナ情勢により、農業に関係するところでは肥料等が高騰している。市として補助等、何か考えているのか。	国の地方創生臨時交付金を活用した事業が令和4年6月議会で補正予算として承認されました。その中で農業者支援として、水稻作付に対しては1反あたり1,500円の支援金を出す予定です。	令和4年度の水稲作付面積10aあたり1,500円、大麦・大豆・ハトムギの作付面積10aあたり800円の助成をJAを通して12月末に行いました。また、施設園芸農家にも原油価格の高騰に対し11月に助成を行ったところです。